

大学番号 私立47

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 大学院の設置

注1

認可

日本薬科大学大学院 薬学研究科 薬学専攻（博士課程）

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人都築学園

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人埼玉事務局

職名・氏名 ソウムカチョウ カワシタスノリ
総務課長 川下康徳

電話番号 048-721-6129

（夜間） 090-6107-3369

e-mail y-kawashita@nichiyaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

日本薬科大学大学院

＜薬学研究科 薬学専攻（博士課程）＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 都築学園

(2) 大学名

日本薬科大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒362-0806

埼玉県北足立郡伊奈町小室10281

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ キミコ) 都築 仁子 (平成16.11)		
学長	(テイ ムネテツ) 丁 宗鉄 (平成24.4)		
学部長	(マツダ ヨシカズ) 松田 佳和 (令和2.4)		
研究科長	(アライ イチロウ) 新井 一郎 (令和2.4)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学研究科 薬学専攻(博士)	薬学関係	4年	3人	年次 人	12人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	3人 () []	— () []	3人 () []	— () []	2.16倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	5 () []	— () []	10 () []	— () []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	5 () []	— () []	10 () []	— () []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	5 () []	— () []	10 () []	— () []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	5 () []	— () []	8 () []	— () []			
入学定員超過率 B/A							1.66		2.66				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [-] ()	- [-] ()	9 [3] (1)	- [-]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- [-] ()	- [-] ()	3 [-] ()	- [-] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	- [-] ()	- [-] ()	- [-] ()
4年次	/						/		/		- [-] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					5 [-] (-)

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	5人	1人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	0人	就職
令和3年度	12人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
合計		1人		1人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{5} = \boxed{20} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<薬学研究科薬学専攻博士課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎薬学領域科目	最先端創薬化学特論	1前		1		1	1					
	Chemistry-Based Medicine特論	1後		1		1						
	生命分析科学特論	1前		1		1		1				
	分子病態制御学特論	1後		1		1	1	3				
	創薬天然物化学特論	2前		1		1		1				
	免疫薬品化学特論	2後		1		1						
	生化学特論	2前		1		1	1					
	糖鎖・脂質生物学特論	2後		1		1						
	小計 (8科目)			8		8	3	5				
臨床薬学領域科目	臨床製剤学特論	1前		1		1	1					
	臨床薬物動態学特論	1後		1				1				
	薬物治療学特論	1前		1		2	1					
	応用薬理学特論	1後		1			1					
	抗加齢医学特論	2前		1		1						
	病態生理学特論	2後		1			1					
	臨床薬学特論	2前		1		1						
	社会薬学特論	2後		1		2						兼1
	小計 (8科目)			8		7	4	1				
共通科目	研究倫理特論	1前	1			6	1					
	漢方薬特論	1前	1			2	1					
	統合医療特論	1後	1			1						
	大学院特別講義	1通	1				4					
	薬学演習	1~4通	4			15	8	5				
	課題研究	1~4通	18			15	8	5				
	小計 (6科目)		26			15	8	5				
合計(22科目)		26	16		15	8	5					
卒業要件及び履修方法												
大学院に原則として4年以上在学し、必修科目26単位、選択科目4単位以上、合計30単位以上修得しなければならない。選択科目は、所属領域以外から少なくとも1単位選択するとともに所属領域の単位が半数以上になるようにする。												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎薬学領域科目	最先端創薬化学特論 (未開講)	1前		1		1	1					
	Chemistry-Based Medicine特論 (未開講)	1後		1		1						
	生命分析科学特論 (未開講)	1前		1		1		1				
	分子病態制御学特論 (未開講)	1後		1		1	1	3				
	創薬天然物化学特論	2前		1		1		1				
	免疫薬品化学特論	2後		1		1						
	生化学特論	2前		1		1	1					
	糖鎖・脂質生物学特論	2後		1		1						
	小計 (8科目)			8		8	3	5				
臨床薬学領域科目	臨床製剤学特論 (未開講)	1前		1		1	1					
	臨床薬物動態学特論 (未開講)	1後		1				1				
	薬物治療学特論 (未開講)	1前		1		3	1					
	応用薬理学特論 (未開講)	1後		1			1					
	抗加齢医学特論	2前		1		1	1					
	病態生理学特論	2後		1		1						
	臨床薬学特論	2前		1		2		1				
	社会薬学特論	2後		1		2						兼1
	小計 (8科目)			8		10	4	2				
共通科目	研究倫理特論	1前	1			6	1					
	漢方薬特論	1前	1			2	1					
	統合医療特論	1後	1			1						
	大学院特別講義	1通	1				4					
	薬学演習	1~4通	4			16	7	5				
	課題研究	1~4通	18			20	8	6				
	小計 (6科目)		26			20	8	6				
合計(22科目)		26	16		20	8	6					
卒業要件及び履修方法												
大学院に原則として4年以上在学し、必修科目26単位、選択科目4単位以上、合計30単位以上修得しなければならない。選択科目は、所属領域以外から少なくとも1単位選択するとともに所属領域の単位が半数以上になるようにする。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎薬学領域科目	最先端創薬化学特論(未開講)	1前		1		1	1					
	Chemistry-Based Medicine特論	1後		1		1						
	生命分析科学特論	1前		1		1		1				
	分子病態制御学特論	1後	—	1	—	1	1	3	—	—		
	創薬天然物化学特論	2前		1		1		1				
	免疫薬品化学特論	2後		1		1						
	生化学特論	2前		1		1	1					
	糖鎖・脂質生物学特論	2後		1		1						
	小計(8科目)	—	—	8	—	8	3	5	—	—		
臨床薬学領域科目	臨床製剤学特論	1前		1		1	1					
	臨床薬物動態学特論	1後		1				1				
	薬物治療学特論	1前		1		2	1					
	応用薬理学特論	1後	—	1	—		1		—	—		
	抗加齢医学特論	2前		1		1						
	病態生理学特論	2後		1		1						
	臨床薬学特論	2前		1		1						
	社会薬学特論	2後		1		2						兼1
小計(8科目)	—	—	8	—	8	3	1	—	—			
共通科目	研究倫理特論	1前	1			6	1					
	漢方薬特論	1前	1			2	1					
	統合医療特論	1後	1			1						
	大学院特別講義	1通	1	—	—		4		—	—		
	薬学演習	1~4通	4			16	7	5				
	課題研究	1~4通	18			16	7	5				
	小計(6科目)	—	26	—	—	16	7	5	—	—		
合計(22科目)	—	—	—	—	16	7	5	—	—			
卒業要件及び履修方法												
大学院に原則として4年以上在学し、必修科目26単位、選択科目4単位以上、合計30単位以上修得しなければならない。選択科目は、所属領域以外から少なくとも1単位選択するとともに所属領域の単位が半数以上になるようにする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

--

【令和元年度】

--

【令和2年度】

・特になし

【令和3年度】

・特になし

(注)

- 授業科目名の変更、新規科目の追加などを箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	16 科目	— 科目	42 科目	26 科目 []	16 科目 []	 科目 []	42 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「最先端創薬化学特論」、「Chemistry-Based Medicine特論」、「分子病態制御学特論」、「生化学特論」、「臨床製剤学特論」、「臨床薬物動態学特論」、「薬物治療学特論」及び「応用薬理学特論」は未開講
 学生には、大学公式サイト及びMicrosoft Teamsにて周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	165,948㎡	0㎡	0㎡	165,948㎡				
	運動場用地	0㎡	10,000㎡	0㎡	10,000㎡				
	小 計	165,948㎡	10,000㎡	0㎡	175,948㎡				
	そ の 他	3,100㎡	0㎡	0㎡	3,100㎡				
	合 計	169,048㎡	10,000㎡	0㎡	179,048㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学部と共用			
		49,125㎡ (49,125㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	49,125㎡ (49,125㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	35室	24室	10室	3室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	薬学研究科薬学専攻(博士課程)			30室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	薬学研究科 薬学専攻 (博士課程)	39,365 [8,099] (39,194 [8,099])	170 [7] (170 [7])	1,498 [1,498] (1,498 [1,498])	1,349 (1,349)	10 (10)	0 0		
	計	39,365 [8,099] (39,194 [8,099])	170 [7] (170 [7])	1,498 [1,498] (1,498 [1,498])	1,349 (1,349)	10 (10)	0 0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	1551.89㎡		350	44,000					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	976㎡		ランニングコース テニスコート						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(理由) 令和3年度に購入 (35,748千円)を計画 していたが研究検査器 材が故障したために元 年度に7年間リース (48,598千円)の契約 を行った。
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	12,096千円	12,063千円	11,820千円	
	共同研究費等	30,000千円	30,000千円	設備購入費	48,598千円 0千円	0千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,100千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	日本薬科大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
薬学部	6・4	360	-	1,930	-			-	-	-	
薬学科	6	240	-	1,540	学士(薬学)	0.92	0.62	-	平成23	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	R3年度定員変更260→240
医療ビジネス薬科学科	4	120	-	390	学士(医療ビジネス薬科学)	0.97	0.55	-	平成23	東京都文京区湯島3-15-9	R3年度定員変更90→120
大学院	4	3	-	6	-	1.66	1.66	-	-	-	
薬学研究科薬学専攻(博士課程)	4	3	-	6	博士(薬学)	2.66	2.16	令和2	令和2	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281	
大学全体	-	363	-	1,936	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	第一薬科大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
薬学部	6	173	-	1,038	学士(薬学)	0.88	0.83	-	-	福岡県福岡市南区玉川町22-1	
薬学科	6	113	-	678	学士(薬学)	1.00	0.99	-	平成18	同上	
遠方薬学科	6	60	-	360	学士(薬学)	0.65	0.53	-	平成28	同上	
看護学部	4	80	-	160	学士(看護学)	0.98	1.00	-	令和2	同上	
大学院	4	2	-	2	-	0.50	0.50	-	-	-	
薬学研究科薬学専攻(博士課程)	4	2	-	2	博士(薬学)	0.50	0.50	令和3	令和3	福岡県福岡市南区玉川町22-1	令和3年度に設置
大学全体	-	255	-	1,200	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	神戸医療福祉大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会学部	4	400	-	1,600	学士(社会福祉学)	0.75	0.62	-	-	-	
社会福祉学科	4	120	-	480	学士(社会福祉学)	0.49	0.35	-	平成25	兵庫県神崎郡福崎町高岡字塩田1966-5	
健康スポーツコミュニケーション学科	4	180	-	530	学士(社会福祉学)	0.78	0.56	-	平成23	同上	R3年度定員変更150→180
経営福祉ビジネス学科	4	100	-	520	学士(社会福祉学)	1.06	1.05	-	平成21	大阪府天王寺区烏ヶ辻2-1-4	R3年度定員変更130→100
大学全体	-	400	-	1,600	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科薬学専攻博士課程>

(1) ① 担当教員表 (1/4)

【認可時又は届出時】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	新井 一郎 (63) <令和2年4月> 博士(薬学)	新井 一郎 (64) <令和2年4月> 博士(薬学)	新井 一郎 (65) <令和2年4月> 博士(薬学)	漢方薬特論 統合医療特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	京ヶ島 守 (63) <令和2年4月> 医学博士	京ヶ島 守 (64) <令和2年4月> 医学博士	京ヶ島 守 (65) <令和2年4月> 医学博士	糖鎖・脂質生物学特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	松田 佳和 (59) <令和2年4月> 博士(医学)	松田 佳和 (60) <令和2年4月> 博士(医学)	松田 佳和 (61) <令和2年4月> 博士(医学)	臨床薬学特論 研究倫理特論 社会薬学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	原口 一廣 (57) <令和2年4月> 薬学博士	原口 一廣 (58) <令和2年4月> 薬学博士	原口 一廣 (59) <令和2年4月> 薬学博士	最先端創薬化学特論 研究倫理特論 薬学演習 課題研究
専	教授	井上(奈良) 裕子 (58) <令和2年4月> 博士(医学)	井上(奈良) 裕子 (59) <令和2年4月> 博士(医学)	井上(奈良) 裕子 (60) <令和2年4月> 博士(医学)	抗加齢医学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	櫻田 肇 (55) <令和2年4月> 博士(医学)	櫻田 肇 (55) <令和2年4月> 博士(医学)	櫻田 肇 (56) <令和2年4月> 博士(医学)	薬物治療学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	高野 文英 (54) <令和2年4月> 博士(薬学)	高野 文英 (55) <令和2年4月> 博士(薬学)	高野 文英 (56) <令和2年4月> 博士(薬学)	創薬天然物化学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	中島 孝則 (54) <令和2年4月> 博士(医学)	中島 孝則 (54) <令和2年4月> 博士(医学)	中島 孝則 (55) <令和2年4月> 博士(医学)	臨床製剤学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	渡邊 峰雄 (50) <令和2年4月> 博士(薬学)	渡邊 峰雄 (50) <令和2年4月> 博士(薬学)	渡邊 峰雄 (51) <令和2年4月> 博士(薬学)	免疫薬品化学特論 薬学演習 課題研究
専	教授	山田 俊幸 (61) <令和2年4月> 理学博士	山田 俊幸 (62) <令和2年4月> 理学博士	山田 俊幸 (63) <令和2年4月> 理学博士	生化学特論 研究倫理特論 課題研究
専	教授	樋口 敏幸 (54) <令和2年4月> 博士(薬学)	樋口 敏幸 (55) <令和2年4月> 博士(薬学)	樋口 敏幸 (56) <令和2年4月> 博士(薬学)	分子病態制御学特論 課題研究

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科薬学専攻博士課程>

(1) ① 担当教員表 (2/4)

【認可時又は届出時】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	井上 俊夫 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) 薬物治療学特論 課題研究	専	教授	井上 俊夫 (53) <令和2年4月> 博士(薬学) 薬物治療学特論 課題研究	専	教授	井上 俊夫 (54) <令和2年4月> 博士(薬学) 薬物治療学特論 課題研究
専	教授	荒井 健介 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) 生命分析科学特論 課題研究	専	教授	荒井 健介 (53) <令和2年4月> 博士(薬学) 生命分析科学特論 課題研究	専	教授	荒井 健介 (54) <令和2年4月> 博士(薬学) 生命分析科学特論 課題研究
専	教授	齋藤 俊昭 (51) <令和2年4月> 博士(薬学) Chemistry-Based Medicine特論 課題研究	専	教授	齋藤 俊昭 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) Chemistry-Based Medicine 特論 課題研究	専	教授	齋藤 俊昭 (53) <令和2年4月> 博士(薬学) Chemistry-Based Medicine特論 課題研究
専	教授	多根井重晴 (51) <令和2年4月> 博士(薬学) 研究倫理特論 社会薬学特論 課題研究	専	教授	多根井重晴 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) 研究倫理特論 社会薬学特論 課題研究	専	教授	多根井重晴 (53) <令和2年4月> 博士(薬学) 研究倫理特論 社会薬学特論 課題研究
専	准教授	前田 智司 (51) <令和2年4月> 博士(薬学) 病態生理学特論 薬学演習 課題研究	専	教授	前田 智司 (51) <令和2年4月> 博士(薬学) 病態生理学特論 薬学演習 課題研究	専	教授	前田 智司 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) 病態生理学特論 薬学演習 課題研究
						専	教授	大上 智也 (62) <令和3年4月> 博士(薬学) 臨床薬学特論 課題研究
						専	教授	勝山 社 (46) <令和3年4月> 博士(薬学) 薬物治療学特論 課題研究
						専	教授	陳 福士 (54) <令和3年4月> 博士(薬学) 課題研究
						専	教授	村井 保之 (60) <令和3年4月> 博士(工学) 課題研究
専	准教授	阿部 賢志 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) 薬物治療学特論 課題研究	専	准教授	阿部 賢志 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) 薬物治療学特論 課題研究	専	准教授	阿部 賢志 (52) <令和2年4月> 博士(薬学) 薬物治療学特論 課題研究
専	准教授	山路 誠一 (57) <令和2年4月> 博士(薬学) 漢方薬特論 課題研究	専	准教授	山路 誠一 (57) <令和2年4月> 博士(薬学) 漢方薬特論 課題研究	専	准教授	山路 誠一 (57) <令和2年4月> 博士(薬学) 漢方薬特論 課題研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の取組等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科薬学専攻博士課程>

(1) ① 担当教員表 (3/4)

【認可時又は届出時】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名				
専	准教授	山本 博之 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	山本 博之 (41) <令和2年4月> 博士(薬学)	村橋 毅 (50) <令和2年4月> 博士(薬学)	分子病態制御学特論 大学院特別講義 課題研究
		生化学特論 研究倫理特論 課題研究	生化学特論 研究倫理特論 課題研究		
専	講師	三熊 敏靖 (40) <令和2年4月> 博士(薬科学)	三熊 敏靖 (41) <令和2年4月> 博士(薬科学)	熊本 浩樹 (49) <令和2年4月> 博士(薬学)	最先端創薬化学特論 大学院特別講義 課題研究
		生命分析科学特論 創薬天然物化学特論 課題研究	生命分析科学特論 創薬天然物化学特論 課題研究		
専	講師	縣 右門 (39) <令和2年4月> 博士(学術)	縣 右門 (40) <令和2年4月> 博士(学術)	茅野 大介 (48) <令和2年4月> 博士(薬学)	応用薬理学特論 大学院特別講義 課題研究
		分子病態制御学特論 課題研究	分子病態制御学特論 課題研究		
専	准教授	栗田 拓朗 (45) <令和2年4月> 博士(薬学)	栗田 拓朗 (45) <令和2年4月> 博士(薬学)	栗田 拓朗 (45) <令和2年4月> 博士(薬学)	臨床製剤学特論 大学院特別講義 課題研究
		臨床製剤学特論 大学院特別講義 課題研究	臨床製剤学特論 大学院特別講義 課題研究		
専	准教授	山本 博之 (41) <令和2年4月> 博士(薬学)	山本 博之 (41) <令和2年4月> 博士(薬学)	山本 博之 (41) <令和2年4月> 博士(薬学)	生化学特論 研究倫理特論 課題研究
		生化学特論 研究倫理特論 課題研究	生化学特論 研究倫理特論 課題研究		
				丸山(雅道) 義史 (46) <令和3年4月> 博士(理学)	抗加齢医学特論 課題研究
専	講師	三熊 敏靖 (42) <令和2年4月> 博士(薬科学)	三熊 敏靖 (42) <令和2年4月> 博士(薬科学)	三熊 敏靖 (42) <令和2年4月> 博士(薬科学)	生命分析科学特論 創薬天然物化学特論 課題研究
		生命分析科学特論 創薬天然物化学特論 課題研究	生命分析科学特論 創薬天然物化学特論 課題研究		
専	講師	縣 右門 (41) <令和2年4月> 博士(学術)	縣 右門 (41) <令和2年4月> 博士(学術)	縣 右門 (41) <令和2年4月> 博士(学術)	分子病態制御学特論 課題研究
		分子病態制御学特論 課題研究	分子病態制御学特論 課題研究		
専	講師	浦丸 直人 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	浦丸 直人 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	浦丸 直人 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	分子病態制御学特論 課題研究
		分子病態制御学特論 課題研究	分子病態制御学特論 課題研究		
専	講師	長部 誠 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	長部 誠 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	長部 誠 (40) <令和2年4月> 博士(薬学)	分子病態制御学特論 課題研究
		分子病態制御学特論 課題研究	分子病態制御学特論 課題研究		
専	講師	瀧沢 裕輔 (39) <令和2年4月> 博士(薬学)	瀧沢 裕輔 (39) <令和2年4月> 博士(薬学)	瀧沢 裕輔 (39) <令和2年4月> 博士(薬学)	臨床薬物動態学特論 課題研究
		臨床薬物動態学特論 課題研究	臨床薬物動態学特論 課題研究		

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、括めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

--

【令和元年度】

--

【令和2年度】

職位の変更(准教授から教授に変更)により、前田准教授を前田教授に変更。
※令和元年11月教員審査済

--

【令和3年度】

令和3年4月 大上、勝山、陳及び村井が教授に、丸山(猪瀬)が准教授にならびに石村が講師に就任。
※令和3年2月教員審査済

--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
8	6	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
15	8	5	0	28	0	20	8	6	0	34	0
-18	-7	-5	0	-30	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
25	3	0				30	4	0			
-25	-3	0									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
20	8	6	0	34	0	20	8	6	0	34	0
[+5]	[0]	[+1]	[0]	[+6]	[0]	[+5]	[0]	[+1]	[0]	[+6]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
30	4	0				30	4	0			
[+5]	[+1]	[0]				[+5]	[+1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日現在の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{28} = \boxed{121.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{34} = \boxed{5.88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当なし							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
	選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
	自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
	選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
	自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	必修	#VALUE!	科目	必修	#####	科目	必修	#####	科目
	選択	#VALUE!	科目	選択	#####	科目	選択	#####	科目
	自由	#VALUE!	科目	自由	#####	科目	自由	#####	科目
	計	#VALUE!	科目	計	#####	科目	計	#####	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\#REF!} = \#REF! \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
	選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
	自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和元年)	・養成する人材像として「高い倫理観」を掲げるのであれば、研究倫理にとどまらず、生命倫理や職業倫理などの薬学分野として必要となる倫理をディプロマ・ポリシーに明記するとともに、研究指導においても適切に対応すること。	遵守事項	ディプロマ・ポリシーを「研究倫理、生命倫理、職業倫理などの薬学分野に必要な倫理を尊重して研究を遂行できる。」に修正し、1年生前期に必修科目である「研究倫理特論」を設けた。また、研究指導教員から、「薬学演習」、「課題研究」の中で、倫理について、具体的な教育・指導を行うようにした。	履行済
	・ディプロマ・ポリシーに「研究現場や医療現場において諸問題に立ち向かうことができる」とあるが、抽象的な表現にとどまっていることから身に付ける能力としてふさわしい表現にすること。	遵守事項	ディプロマ・ポリシーを「研究現場や医療現場において、諸課題を見いだすとともに専攻分野で学術的価値を提供できる。」に修正した上で、研究テーマ設定を行うようにした。	履行済
	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術的理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	改善事項	大学院の設置の趣旨・目的に沿うように、履修課目の内容をシラバスで設定しました。また、履修規定を作成しました。研究活動が確実に行われていることの確認のため、また、その水準を上げるために、年度末に研究進捗報告会を全院生に行い、研究科委員会教員がアドバイスをできるようにしました。	履行済
	カリキュラム・ポリシーの「幅広い高度な専門的知識を学ぶため」の授業形式は講義にとどまらないため、「多様な講義科目」ではなく、単に「多様な科目」と表現することが望ましい。	改善意見	カリキュラム・ポリシーの「多様な講義科目」を「多様な科目」に修正しました。	履行済
	シラバスの「評価方法および評価基準」について、各科目で記載されている内容がことなり学生に分かりづらくなっている。このため、各科目の授業形式なども勘案しつつ、本研究科として記載すべき内容を統一するとともに、学生に対してあらかじめルーブリック等を示すことが望ましい。	改善意見	シラバスの「評価方法および評価基準」を統一した。評価方法はルーブリック評価とし、その基準をあらかじめ学生に示すようにした。	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学研究科薬学専攻博士課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>(1) 「教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成する。」ことを目的とした「FD委員会」を設置している。同委員会には7個の検討部会が設置され、所掌の活動を行っている。</p> <p>(2) 「大学事務職員の能力及び資質の向上を図る。」ことを目的とした「SD委員会」を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(1) FD委員会は、1回／月の割合で開催し、各検討部会から1名以上の教員が参加している。</p> <p>(2) SD委員会は、必要の都度開催し、課長等および関係職員が参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>・FD委員会審議事項</p> <p>(1) 授業内容、授業方法の改善に関する事項</p> <p>(2) FDに関する研究会、研修会の開催、参加、報告に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施とその検討に関する事項</p> <p>(4) 業績集および紀要の編集に関する事項</p> <p>(5) 研究支援に関する事項</p> <p>(6) その他、教員の教育研究の改善に関する事項</p> <p>・SD委員会審議事項</p> <p>(1) 教育支援のための基本方針と実施体制に関する事項</p> <p>(2) 個人の能力開発、資質向上のための研修を含む施策に関する事項</p> <p>(3) その他委員長が特に必要と認めた事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 各種研修会（オンライン）への参加及び勉強会の開催</p> <p>(2) 教員自身の教員評価（自己申告書）</p> <p>(3) 教員の臨床研修実習</p> <p>(4) 競争的外部資金の獲得と研究倫理の研修</p> <p>(5) 授業評価アンケートおよび教員相互の授業参観</p> <p>(6) 新任教職員のための研修会</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1) 年に数回、オンラインによりFD、SD研修会を開催する。</p> <p>(2) 専任教員に「自己申告書」を作成させ、全学的な教員評価制度を実施する。</p> <p>(3) 日本薬科大学研究助成金による若手教員の研究支援を行うとともに研究倫理教育を実施する。</p> <p>(4) 教育研究業績集および日本薬科大学紀要を発行する。</p>
--

- (5) ICTを活用した授業方法について情報共有を行う。
- (6) オンラインで行う教員朝礼及び教員連絡会へ職員を参加させ、情報の共有化を図る。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 大学院特別講義には部外の有識者を招聘して教育を行うとともに、教員を聴講させ識能を向上させた。
- (2) オンライン授業の推進・発展を図るため、ICTの活用方法についてTeamsを活用し情報共有を行った。
- (3) コロナ禍における学生の状況に柔軟に対応するため、オンデマンド及びライブ形式の授業を状況に合わせて実施した。
- (4) 毎月行われる教員連絡会に事務職員をオブザーバ参加させ、情報共有を図った。
- (5) オンラインで行われる各種セミナー等へ積極的に参加させ、識能を向上させた。
- (6) 令和2年度教員評価（自己申告書）を作成し、その結果を教員にフィードバックした。
- (7) 若手教員への研究支援として日本薬科大学研究助成を行うとともに全教員に対して公的研究助成への応募や臨床研究を行うために必要な研究倫理教育を実施した。
- (8) 令和元年度教育研究業績集および日本薬科大学紀要を発行した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 講演会、研修会等をつうじて共有した情報および知見を授業改善や学生支援に活用
新型コロナウイルス流行に対しては、昨年度におこなったICT化推進の検討会、勉強会の成果を活用し、速やかにMicrosoft Teamsを活用したオンライン講義体制に移行することができた。
- (2) 学生による授業評価、教員による授業参観、「教育研究業績集」等の作成・配布等を行って、相互の客観的評価を行い授業改善に反映した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 各科目において授業計画に基づき講義が実施されているかどうかを含めて、学生による「授業と学習に関するアンケート」を前期ならびに後期授業終了時に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目において授業計画に基づき講義が実施されているかどうかを含めて、学生による「授業と学習に関するアンケート」を前期ならびに後期授業終了時に実施した。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置初年度にあたる 2020年度について報告する。
2020年度入学生（1期生）は5名であった。うち1名が入学直後に退学、1名が後期休学となった（2021年度から復学）が、残りの3名は年間を通して講義の受講、研究活動を行えた。
講義に関しては、社会人学生が大部分を占めることから、新型コロナウイルス感染症流行とは関係なく、すべてオンラインで行われた。
初年度で受講すべき基本必修科目（研究倫理特論、漢方薬特論、統合医療特論）および大学院特別講義は全員が履修し、大学院設置の趣旨・目的を理解した。これに加えて、前・後期で選択科目5課目が開講された。
研究活動の基本となる薬学演習は、各学生の指導教員を中心にゼミの形で開講され、これを通じて研究指導が行われた。
また、課題研究も、研究テーマの探索を中心に行われた。年度末には、オンラインにて研究経過報告会を開催し、在学生3名が、現在の研究の状況を報告した。
指導教員以外からも、多くの質問、建設的なアドバイスが行われ、学生の今後の研究の参考になった。研究経過報告会は、今後も、年度末に開催予定である。
2021年入学生については、社会人6名、一般2名が入学した。受験に当たっては、本学大学院のポリシーを十分に説明し、ミスマッチがおこらないように努めた。また、入試や教務の実務担当者グループを立ち上げ、そこを中心に、入試・教務活動を行った。年度末までには「課程博士審査規定」を整備し、それをもとに、学生向けの「課程博士審査のしおり」を作成・配布し、学生が計画的に目的をもって研究活動を送れるようにした。現在のところ、設置の趣旨・目的にそった活動がおこなえている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和3年8月公開予定

b 公表方法

大学ホームページ上に公開

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。